史
歴史

むらからくにへ

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ

くらしは
どう変わる？



こたえ

- 1: 縄文時代―狩りや漁、木の実の採集をしてくらした　弥生時代―米づくりが広まり、むらどうしが争った　古墳時代―大王や豪族の大きな墓がつくられた
- 2: (1) 縄文土器　(2) 高床倉庫　(3) 卑弥呼
- 3: イ → ア → ウ（狩りや漁をして、たて穴住居でくらす → 米づくりが広まり、むらができる → 大和朝廷（大和政権）が国を統一していく）

みてあげる ところ

- 縄文時代は狩りや漁・採集のくらし、弥生時代は米づくりが広まり、むらどうしの争いが起きました。古墳時代には大王や豪族の大きな墓（古墳）がつくられ、大和朝廷（大和政権）が国を統一していきました。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

史
歴史

天皇中心の国づくり

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1: 冠位十二階（かんいじゅうにかい）―家がらにとらわれず、能力のある人を役人に取り立てた　十七条の憲法―役人の心がまえを示した　遣隋使（けんずいし）―中国に使いを送り、進んだ文化や制度を学んだ
  法隆寺（ほうりゅうじ）―聖徳太子が建てた寺。今残る世界でいちばん古い木造の建物
- 2: ① 中臣鎌足（なかとみのかまたり）　② 大化の改新
- 3: 推古天皇

みてあげる ところ

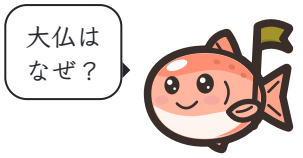
- 聖徳太子（厩戸王（うまやどのおう））は推古天皇を助け、冠位十二階（かんいじゅうにかい）・十七条の憲法・遣隋使（けんずいし）などで天皇中心の国づくりを進めました。645年、中大兄皇子と中臣鎌足（なかとみのかまたり）が蘇我氏（そがし）をたおし、大化の改新を始めました。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

史
歴史

大仏と奈良の都

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1: ① 平城京
- 2: (1) 聖武天皇　(2) 行基　(3) 鑑真（がんじん）　(4) 東大寺
- 3: (1) ○　(2) ×

みてあげる ところ

- 710年に都が奈良の平城京にうつりました。聖武天皇は仏教の力で国を治めようと、東大寺に大仏をつくらせ、行基が協力しました。鑑真（がんじん）は何度も失敗しながら唐（とう）から日本にわたり、唐招提寺（とうしょうだいじ）を開きました。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

史
歴史

貴族のくらしと文化

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1: 紫式部（むらさきしきぶ）—「源氏物語」を書いた　清少納言—「枕草子（まくらのそうし）」を書いた　藤原道長（ふじわらのみちなが）—娘（むすめ）を天皇のきさきにして、大きな力をもった
- 2: (1) 寝殿造（しんでんづくり）　(2) かな文字　(3) 平安京
- 3: (1) ○　(2) ×

みてあげる ところ

- 794年に都が京都の平安京にうつりました。藤原道長（ふじわらのみちなが）は娘（むすめ）を天皇のきさきにして大きな力をもちました。漢字をもとにかな文字がつくられ、紫式部（むらさきしきぶ）は「源氏物語」、清少納言は「枕草子（まくらのそうし）」を書きました。

書体: Klee One（SIL Open Font License）